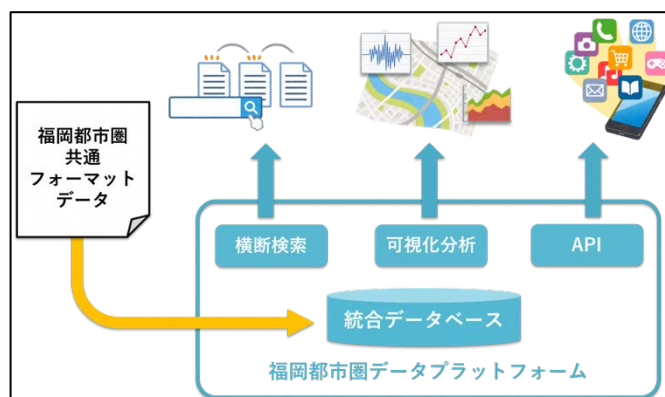


(参考資料) 福岡都市圏データプラットフォームについて (九州先端科学技術研究所)

福岡都市圏データプラットフォームとは、17 市町が共通のフォーマットで公開するオープンデータについて、利活用しやすい環境を提供する Web サービスです。

プラットフォームでは、福岡都市圏の各自治体から公開されるオープンデータの横断検索や可視化分析ができる機能や、Web やスマホのアプリなどからデータを容易に利用できるよう「API」(アプリケーション・プログラミング・インターフェイス)を提供します。



福岡都市圏データプラットフォームの特徴は次の通りです。

1. ファイル内の項目を対象に検索できるなど、高度な検索が可能となります

プラットフォームでは、各都市が公開したファイル(データ)内の項目を対象に検索ができます。この機能により、例えば、特定の災害に対応している避難所のみデータを抽出するなど、必要とするデータを簡単に見つけることができます。

2. 可視化分析で簡単にデータを比較できます

位置情報(緯度・経度)を有するデータをマップ上に表示したり、統計データをグラフ化する機能などにより、福岡都市圏を対象とした自治体間比較や、ある自治体と隣接する自治体との相互比較などの分析を、簡単に視覚的に行うことができます。

3. APIで簡単にデータを取得できます

福岡都市圏の共通フォーマットのデータに対して、API(アプリケーション・プログラミング・インターフェイス※)が自動的に生成されるため、公開されたオープンデータを直ちにWebサービスやスマホのアプリから簡単に取得することができます。

(※API:プログラムから別のプログラムの機能呼び出す仕組み)

実証実験期間:平成30年10月1日から平成31年3月31日まで(予定)

(期間中、自治体職員や活用が見込まれる民間企業からヒアリングなどを行い開発を進めます。九州先端科学技術研究所は、福岡都市圏ならびに民間企業と共同で、福岡都市圏データプラットフォームによるオープンデータ利活用事例の創出を図ってまいります。)

【本件の問い合わせ先】

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 オープンイノベーション・ラボ
〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル7F
[TEL:092-852-3451](tel:092-852-3451) FAX:092-852-3455 E-mail:bodik-team@isit.or.jp